

## 第7回愛知県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議 議事概要

日時：2020年4月28日（火）午後2時から午後2時35分まで

場所：愛知県庁本庁舎6階 正庁

### 1 挨拶

大村知事：

大型連休を控え、県内、都道府県間の移動の徹底的な自粛、行事・イベントの自粛、とにかく外出・移動の徹底的な自粛をお願いしたい。これまで県としては、名古屋市、中核市を始め、県内市町村と一体となって、医療・検査の体制確保、入所施設の確保、感染者の対応に従事していただく医療従事者・病院への支援、休業要請・休業協力依頼に応じた事業者に対する50万円の協力金の交付、昨日ガウンの提供もあったが、医療物資の募集、潜在的な看護師の募集など、様々な対応を実施してきた。

引き続き、医療・検査体制をしっかりと確保し、県民と一体となり、オール愛知で新型コロナウイルス感染症を克服していきたい。引き続き、御協力をお願いしたい。

### 2 議題

#### (1) 県民へのメッセージについて

大村知事：

大型連休を迎えるにあたり、県民・事業者の皆様へのメッセージをこの本部員会議から発信したい。先ほど申し上げた、不要不急の帰省・旅行・外出の自粛、移動の自粛、3密の回避、休業協力、スーパー等での「あいちの買い物ルール」のお願いである。混雑を避け、人との距離を確保し、少人数・短時間の利用、開店から一時間を高齢者、障害者等の優先時間とすることなどをお願いしていく。営業を続けている県内のパチンコ店に、24日の金曜日から本日まで、店舗に個別に訪問し協力をお願いしている。また、本日の午後、県の保健所職員、警察官で店舗を訪問して事前通知を行い、明後日30日の正午までに営業を自粛してもらいたい旨をお願いしている。それでも応じていただけない場合は、その後休業協力を要請するとともに、営業を続ける店舗の名称を公表するという形で手順を進めていく。

2週間が大事だということで、大切な家族、同僚、地域で暮らす人々を守るために、お願いするメッセージである。

## (2) その他

○各局の対応状況について

・保健医療局長から検査陽性者の状況などについて、防災安全局長から新型コロナウイルス感染症愛知県緊急事態措置などについて、経済産業局長から「愛知県・市町村新型コロナウイルス感染症対策協力金」の創設などについて、教育長から県立及び市町村立学校の臨時休業期間の延長などについて、県民文化局長から私立学校の新型コロナウイルス感染症対策について、福祉局長から保育所等の新型コロナウイルス感染症対策などについて、農業水産局長から農林水産業への影響と現状の対応について、建設局長から新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた河川、港湾等における対応などについて、都市整備局長からゴールデンウィーク期間中に来県される方々への名古屋駅での啓発活動及び検温の実施などについて、それぞれ配付資料により説明

大村知事：

本日は名古屋市始め中核市にも出席いただいている。各市の現状等、発言をお願いしたい。

名古屋市保健所長：

名古屋市では3月末から陽性者数が増加に転じている。かなりの数の陽性者が出ていたが、先週に入り、減少に転じた。さらに先週の土、日、昨日と3日間陽性者がゼロという日が続いている。やはり緊急事態宣言を出していただいた効果が出ているのではないかと考えている。ただこれに気を緩めず、今後も慎重に推移を見ていきたい。

豊橋市保健所長：

発生患者は管内7名、感染源のわからない患者の発生も起こっている。

取組としては、社会資源の大きな市ではないのでクラスター発生等で一気に患者が増えるとベッドの確保にも困る状況にあるため、1点は感染症指定病院に負担が集中しないように体制整備を進めている。具体的には、クリニックで必要と判断したPCR検査の効率的な実施に加え、入院協力病院のベッドの確保、宿泊施設の確保の3点である。特にベッド、宿泊施設については、東三河という圏域での検討が必要だと考えるので、県としても検討をお願いしたい。

もう1点は、移動手段を持たない市民の移動を保健所職員が担っているという現状がある。感染リスクも考え、患者搬送用の車があればと考えているので、こちらについてもリスク軽減という意味も含めて御検討いただきたい。

岡崎市保健所長：

昨日までで患者発生は9名、現在2名が入院となっている。1名については本日の検査で陰性となれば退院という運びになる。

4月9日からPCR検査を市で行っているが、現在は1日7、8件程度検査を行っている。4月12日以降、昨日まではすべて陰性となっている。

相談件数は増加しているので、4月に入り、保健師8名、事務職2名の増強を行っている。

豊田市保健所長：

今までの患者発生は7名。内訳は他の地区でのクラスター1名、外国からの帰国者が2名、国内流行地への旅行者1名、不明が3名。

昨日までの帰国者・接触者相談センターへの相談件数は2,700件、それ以外への電話相談は3,441件と多いこともあり、4月23日から、生活支援相談センターと事業者支援相談センターに分けて相談受付を実施している。

## 閉会挨拶

大村知事：

明日から大型連休となり休日が続くという民間の方もいると思う。特に本県の場合は明日以降、順次自動車関連企業が休みに入り、事業活動は減り、人と人との接触もぐっと少なくなると見込まれるが、その分、公園やスーパーにおいても、人と人との距離を置き、接触を避けてもらうことを特に気を付けてほしい。県の広報車に県内を回らせるが、各市においても広報カー・宣伝カーを回らせてたり、同報無線なども可能であれば使って、県民、市民の方に不要不急の移動は自粛してもらうようにしてほしい。

なお、名古屋市の浅井医監からも話があったが、名古屋市は3日連続ゼロ。県は土曜、日曜に1人ずつで昨日はゼロ。43日ぶりに感染者ゼロとなったが、これはたまたまということではないかと思う。そう簡単に感染症がなくなることは考えられない。少し収まっても、誰かのところは残っていて、また、ぶり返してくる。1波があれば2、3波とあるというのが、過去の感染症の事例。100年前のスペイン風邪やインフルエンザがそうだった。2009年の新型インフルエンザも1波が収まったと思ったら夏になって2波がやってきたというのは記憶に新しい。大型連休を迎え、とにかく緊張感、緊迫感を持ってほしい。

入院者、入所者は3日前247人だったのが、昨日時点で217人と30人減った。成田の検疫所で発症した方が愛知まで戻ってきた事例を含め218人。ピークから30人減ったというのは運営する側からすると負荷が軽くなったということは事実だが、引き続き緊張感、緊迫感を持って対応していきたい。

大府、東浦の健康プラザに続き、2つ目の宿泊施設を三河安城の東横インを借りて明日から開設する。東横インは 143 室あり、健康プラザと合わせて部屋数は 206。引き続き体制を組んでいく。そういった状況だからこそ、PCR 検査数をさらに増やして対応できるようにしていきたい。気が早いが諸外国のように、経済活動や学校の再開を視野に入れると、検査数を増やして感染状況を明らかにしないと再開はできない。そのための体制づくりを関係局、名古屋市、中核市 3 市の皆さんとしっかり連携してやっていきたい。明日から 5 月 6 日までの 8 日間、緊張感をもって対応していきたい。